

岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略の 取組みについて

令和3年5月10日

岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議資料

- 1. 第2期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画概要について**

- 2. 令和2年度の地方創生の取組みについて**
 - (1) 主な取組みについて**
 - (2) 成果実績について**
 - (3) 人口動態について**

- 3. 第2期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性**

- 4. 令和3年度の地方創生の取組みについて**

1. 第2期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

(1) 趣旨

- ・第1期岬町総合戦略の検証を行い、国の第2期「総合戦略」や「第5次岬町総合計画」を踏まえ、Society5.0やSDGsといった新しい視点を盛り込み、岬町の強みや特徴を生かした今後5か年の地方創生の指針となる総合戦略を策定

(2) 計画期間

- ・令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間

(3) 基本目標と横断的な目標

- ・総合戦略に掲げる基本目標とそれを達成するための具体的な取り組みを示した戦略の体系

基本目標1 新しい人の流れをつくり、定住と交流を促進する	1) 移住・定住の支援 2) 関係人口の創出・拡大 3) 観光の振興 4) タウンプロモーションの推進
---------------------------------	--

基本目標2 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる	1) 結婚・出産・子育ての支援 ① 結婚希望の実現 ② 妊娠・出産の支援 ③ 子育ての支援 2) 次代を担う人材の育成
-------------------------------	---

基本目標3 経済を活性化し、安定的な雇用を創出する	1) 地域資源を活かしたまちの魅力強化 2) 地域産業の競争力強化 3) 雇用対策の推進
------------------------------	--

基本目標4 安全・安心な暮らしができる魅力的なまちをつくる	1) 生活インフラの確保 2) 安全・安心な暮らしの確保 3) 誰もが健康で暮らしやすいまちづくりの推進 4) 地域コミュニティの活性化 5) 広域連携の推進
----------------------------------	---

横断的な目標Ⅰ 多様な人材の活躍を推進する	1) 幅広い連携の推進
--------------------------	-------------

横断的な目標Ⅱ 新しい時代の流れを力にする	1) 新しい時代の動きの活用
--------------------------	----------------

2. 令和2年度の地方創生の取組みについて

(1) 主な取組みについて

●住宅取得、結婚や出産、子育てに関する各種助成事業を実施する。

◆ 1.新築住宅助成◆

	件数	対象人数	内町外移住
平成28年度	22件	68人	40人
平成29年度	25件	79人	51人
平成30年度	17件	49人	26人
令和元年度	13件	44人	18人
令和2年度	17件	49人	21人

◆ 2.中古住宅助成◆

	件数	対象人数	内町外移住
平成28年度	4件	11人	11人
平成29年度	4件	15人	11人
平成30年度	1件	2人	2人
令和元年度	6件	17人	7人
令和2年度	3件	8人	4人

◆ 3.家賃助成◆

	件数	対象人数	内町外移住
平成28年度	6件	17人	17人
平成29年度	9件	26人	20人
平成30年度	7件	19人	14人
令和元年度	8件	21人	14人
令和2年度	6件	13人	8人

◆ 4.民間事業者との連携による婚活イベント◆

	開催件数	参加者数	交際成立数
平成28年度	3件	4人	2人
平成29年度	5件	58人	7人
令和元年度	1件	27人	8人
令和2年度	-件	-人	-人

◆ 5.出産祝金◆

	件数
平成28年度	64件
平成29年度	71件
平成30年度	44件
令和元年度	37件
令和2年度	52件

◆ 6.不妊・不育補助◆

	助成件数
平成28年度	12件
平成29年度	20件
平成30年度	16件
令和元年度	12件
令和2年度	11件

※1～6の令和2年度は令和3年3月9日現在数値

※平成29年度～令和2年度は支援累積

主な取り組み②

空き家活用事業（まちづくり交流館）

- 多奈川駅前の元旅館を借上げ、地域おこし協力隊（まちづくりエディター）の事務所として町内外の住民が集える交流拠点「まちづくり交流館」の貸館制度を活用し、カフェをオープン。
- 3店舗がシェアキッチンを活用。



- 町外から人材を誘致し、町の地域資源や空き家を活用した事業の実施、移住者支援の取組を行う人材（2名）が着任
- まちの魅力づくりと情報発信に努め、交流人口の拡大を図る。



- 町内での雇用創出をめざし、平成29年度に岬町創業支援事業計画を策定
- 創業支援事業補助金を受け、3件の店舗が新たに創業
- ビジネスプランコンテストの実施



みさつきービジネスプラン コンテスト2020

岬町の新しいビジネスの芽を発見し、地域活性化につなげるビジネスプランを募集します。
岬町の強みを活かした新たなビジネスを創出したい方、実践してみたい企画をお持ちの方など、お気軽にご応募ください。

入賞者特典	審査の結果、最優秀賞受賞者(1名)には10万円。優秀賞受賞者には5万円(1名)を授与します。
応募要件	公序良俗に反せず、社会性を持った以下の事業を企画する法人又は個人。グループ参加可。(法人化を予定している場合は、その代表者となる予定の個人。町内在住は問いません。) ・事業所を岬町内に置き展開する事業 ・岬町の地域資源を活用し展開する事業 ※既存事業者による二次創業、事業開始後1年以内の事業化した事業でも可能です。
審査	岬町が任命した審査員が、「新規性・独創性」、「実現性」、「拡張性」、「熱意」などの観点から審査します。 (1) 一次審査(書類審査) 提出いただいた申込用紙で内容を審査します。 (2) 最終審査 公開で審査員に対してプレゼンテーションをしてもらいます。 (3) 審査員 株式会社池田泉州銀行・株式会社紀陽銀行・大阪泉州農業協同組合・株式会社日本政策金融公庫・岬町商工会・岬町
応募方法	参加申込書(企画書)を総務部企画地方創生課まで、メール・郵送・持参してください。 ※参加申込書(企画書)は、総務部企画地方創生課で配布するほか、岬町のホームページからダウンロードできます。
スケジュール	令和3年1月 6日(水) 募集開始 令和3年1月29日(金) 募集締切(17時まで)・書類審査 令和3年2月12日(金) 最終選考者通知 令和3年2月 下旬 プレゼンテーション、最終選考会

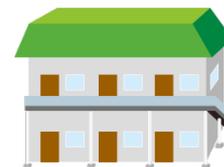
応募先/問合せ先
岬町総務部 企画地方創生課
電 話 072-492-2775 (直通)
F A X 072-492-5814
メール kikaku@town.osaka-misaki.lg.jp

- エンターテインメントの力で町を活性化したいとの思いから10月31日（土）から11月2日（月）の3日間みさき公園駐車場において民間企業が主体で「みさき公園RE:BORNドライブインシアター」を開催。
- 令和2年11月28日（土）、29日（日）にみさき公園駅前にて岬町商工会青年部が設置したイルミネーションが点灯され、新型コロナウイルス感染拡大による暗いムードの中で、訪れた人々を心身共に明るく照らしました。



2. 令和2年度の地方創生の取組みについて

(2) 成果実績について



→ まちの魅力づくりと情報発信に努め、定住人口の増加と交流人口の拡大を図る。

数値目標	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
社会増減数※1	△133人(H26)	0人(R2)	△130人	△88人	△37人	△129人	△86人	△90人
観光入込数※2	1,126千人(H26)	1,800千人(R2)	1,280千人	1,170千人	1,869千人	1,738千人	1,948千人	1,366千人

※1住民基本台帳人口移動報告、※産業観光促進課調べ

1) 移住・定住の支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
若年層(20~39歳)の転出超過数※1	△119人(H26)	△80人(R2)	△114人	△91人	△52人	△108人	△100人	△93人
空き家率※2	19.0%(H25)	現状を下回る(R2)	-	-	8.1%	17.9%	-	-

2) 観光の振興

※1住民基本台帳人口移動報告、※2住宅・土地統計調査また、29年度は空家等実態調査

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
滞在人口(休日14時の人口)	19,600人(H26)	25,000人(R2)	17,315人※1	16,438人※2	17,587人※3	19,055人※4	16,985人※5	15,044人※6

※1※2※3※4※5※6 RESAS滞在人口(5月休日、15歳以上)

3) タウンプロモーションの推進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
町HP特設サイトアクセス数	-	250,000件(H27~R2)	12,303件	27,007件(H27~28)	54,155件(H27~29)	227,051件(H27~30)	355,597件(H27~R元)	491,904件(H27~R2)

➡ 結婚・出産・子育ての切れ目ない支援により、少子化を克服するとともに、次代のみさきを担う人材の育成、確保を図る。

数値目標	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
合計特殊出生率※1	1.06(H20～24)	1.42 (H25～29)	-	-	-	-	-	1.14(H25～29)
岬町に愛着を感じる住民の割合	63%(H27)	70%(R2)	-	-	-	-	73%※2	-

1)結婚・出産・子育ての支援

※1人口動態統計特殊報告、※2第5次総合計画策定に関する住民意識調査

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
婚姻率（千対率）※1	3.4(H26)	4.6(R2)	3.5	3.5	3.0	3.1	3.2	-
妊娠届が満11週までに提出される割合	95.1%(H25)	100%(R2)	97.2%	90.5%	83.3%	92.1%	91.2%	96.7%
乳幼児家庭全戸訪問 訪問率	97.4%(H26)	100%(R2)	100%	100%	98.4%	96.2%	92.1%	96.6%
子育て施策の満足度※2	23.6%(H27)	50%(R2)	-	-	-	-	28.6%	-
ファミリーサポートセンター登録者数	-	援助40人(R2) 利用40人(R2)	-	-	援助27人 利用32人	援助33人 利用32人	援助34人 利用34人	援助37人 依頼39人
子育て支援センター利用者数	6,887人(H26)	7,380人(R2)	6,509人	6,961人	7,225人	6,575人	5,160人	1,789人

2)次代を担う人材の育成

※1人口動態統計特殊報告 29、30年度は大阪府人口動態調査
※2第5次総合計画策定に関する住民意識調査

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
全国学力・学習状況調査※1	-	全国の平均正答率を上回る(H31)	4科目中2科目全国平均を上回る	4科目中3科目全国平均を上回る	4科目中3科目全国平均を上回る	4科目中2科目全国平均を上回る	4科目中3科目全国平均を上回る	新型コロナウイルス感染症対策として中止
全国体力・運動能力、運動習慣等調査 体力合計点※2	-	全国の体力合計点を上回る(H31)	男女ともに全国平均を下回る	男子は全国平均を上回る	女子は全国平均を上回る	男女ともに全国平均を上回る	男女ともに全国平均を上回る	新型コロナウイルス感染症対策として中止
学校に行くのは楽しいと思う児童・生徒の割合	全国平均を上回る(H26)	全国平均を上回る(H31)	全国平均を上回る	全国平均を下回る	全国平均を上回る	-	全国平均を下回る	新型コロナウイルス感染症対策として全国調査は実施せず

※1※2教育委員会調べ（数値は非公表）

基本目標3 安定的な雇用を創出する



産業の育成、創業の支援などによる雇用創出と地域資源を活かした魅力づくりを進め、就職を希望する人の希望をかなえる。

数値目標	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
町の取り組みによる雇用創出数	-	100人 (H27~R2)	6人	42人	58人	85人	105人	106人
従業員数※1	3,873人 (H24)	3,800人 (R2)	4,078人 (H26)	3,597人	-	-	-	-

※1経済センサス

1)地域産業の創出

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事業所数※1	479所(H24)	470所(R2)	476所(H26)	452所	-	-	-	486所

※1経済センサス

2)地域産業の競争力強化

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
事業所数※1	479所(H24)	470所(R2)	476所(H26)	452所	-	-	-	486所
道の駅への出荷軒数※2	-	130軒(R2)	-	-	114軒	125軒	130軒	141軒

※1経済センサス、※2産業観光促進課調べ

3)雇用対策の推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
地域就労支援事業による就職件数※1	10件(H26)	150件(H27~R2)	10件	57件	100件	137件	162件	183件
シルバー人材センター登録者数※2	89人(H26)	180人(R2)	134人	162人	189人	178人	178人	170人

※1産業観光促進課調べ、※2福祉課調べ

基本目標4 安全・安心な暮らしを守る



→ 地域力・住民力を活かし、人口減少社会に対応した安全・安心かつ快適で利便性の高いまちを創出する。

数値目標	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
これからも岬町に住み続けたいと思っている住民の割合※1	51.8%(H27)	60%(R2)	-	-	-	-	66%	-
岬町での生活に満足している住民の割合※2	49.6%(H27)	60%(R2)	-	-	-	-	62.9%	-

※1※2第5次総合計画策定に関する住民意識調査

1)生活インフラの確保

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
コミュニティバスの利用者数※1	134千人(H26)	134千人(R2)	125,247人	106,367人	123,807人	130,654人	129,969人	105,609人
小売事業者数※2	91事業者(H26)	110事業者(R2)	-	108事業者	-	-	-	-
下水道普及率※3	74.3%(H26)	79.0%(R2)	74.5%	75.6%	76.8%	78.4%	78.8%	79%

※1生活環境課調べ※2経済センサス※3土木下水道課調べ

2)安全・安心な暮らしの確保

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
自主防災組織数※1	40団体(H26)	61団体(R2)	41団体	41団体	44団体	44団体	47団体	48団体
交通事故件数※2	74件(H26)	50件(R2)	82件※4	67件※5	42件※6	42件※7	21件※8	-
犯罪発生件数※3	123件(H26)	72件(R2)	134件※9	136件※10	116件※11	101件※12	85件※13	78件※14

※1危機管理担当調べ、※2※3泉南警察署

※4~※14年実績



3)誰もが健康で暮らしやすいまちづくりの推進

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
いきいきパークみさきの利用者数※1	7,743人(H26)	16,000人(R2)	9,982人	9,209人	12,710人	15,542人	32,977人	28,824人
健康ふれあいセンターの利用者数※2	91,169人(H26)	96,000人(R2)	88,271人	97,009人	96,240人	95,963人	85,094人	72,377人
シルバー人材センター登録者数※3	89人(H26)	180人(R2)	134人	162人	189人	178人	178人	170人
いきいきサロン開催数※4	110回(H26)	110回(R2)	99回	102回	104回	101回	88回	10回

※1企画地方創生課調べ、※2※3※4福祉課調べ

4)地域コミュニティの活性化

重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
自治区加入率※1	87.5%(H26)	90%(R2)	85.7%	84.8%	83.4%	81.7%	80.7%	81.6%
岬ゆめみらいサポート事業数※2	12件(H26)	70件(H27~R2)	19件	27件	38件	49件	54件	58件

※1危機管理担当調べ、※2企画地方創生課調べ

5)広域連携の推進

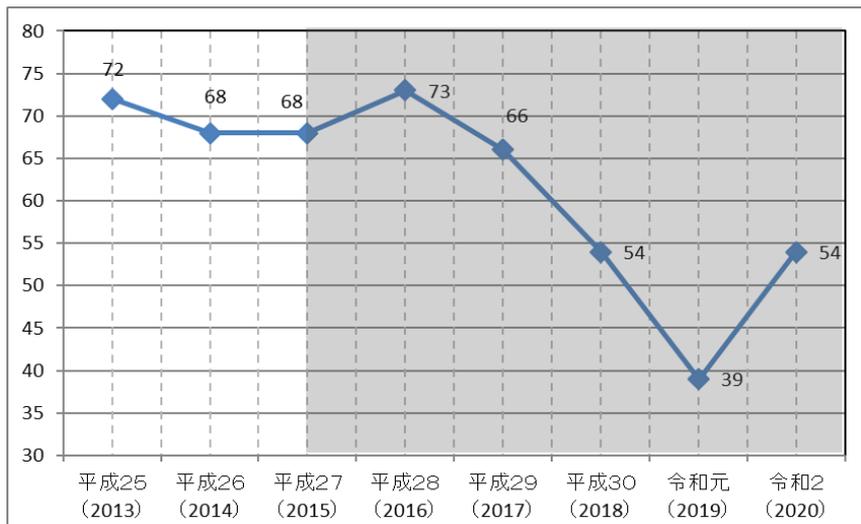
重要業績評価指標(KPI)	基準値	目標値	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
広域連携事業数※1	7事業(H26)	25事業(R2)	10事業	21事業	25事業	25事業	26事業	26事業

※1企画地方創生課調べ

2. 令和2年度の地方創生の取組みについて

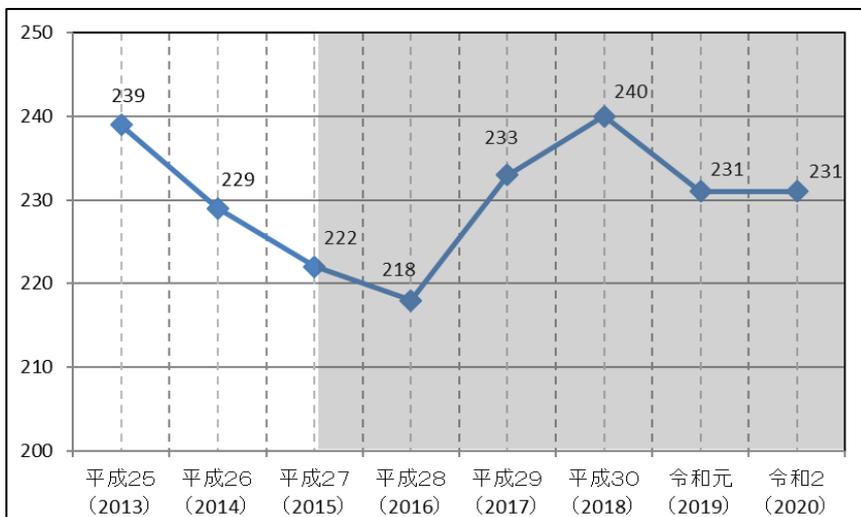
(3) 人口動態について

◆ 1. 出生数の推移 ◆



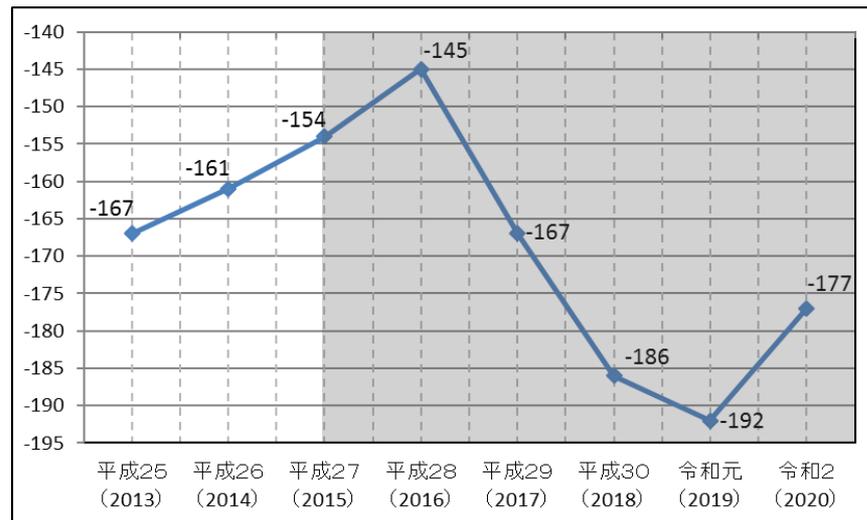
出典：人口動態総覧（令和2年は住民課調べ）

◆ 2. 死亡数の推移 ◆



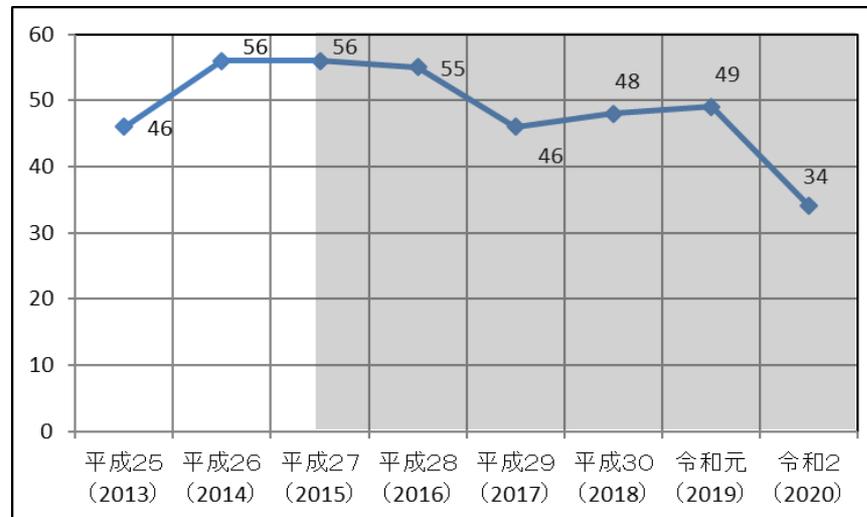
出典：人口動態総覧（令和2年は住民課調べ）

◆ 3. 自然増減の推移 ◆



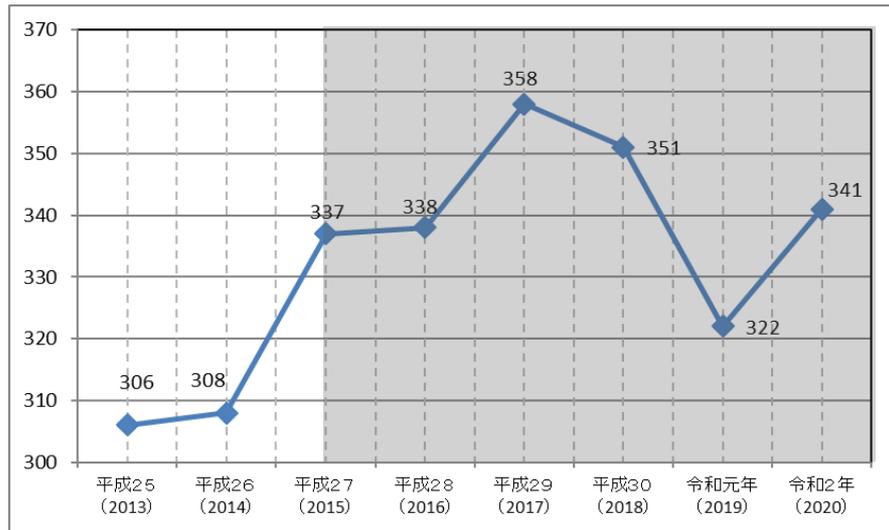
出典：人口動態総覧（令和元2年は住民課調べ）

◆ 4. 婚姻数の推移 ◆



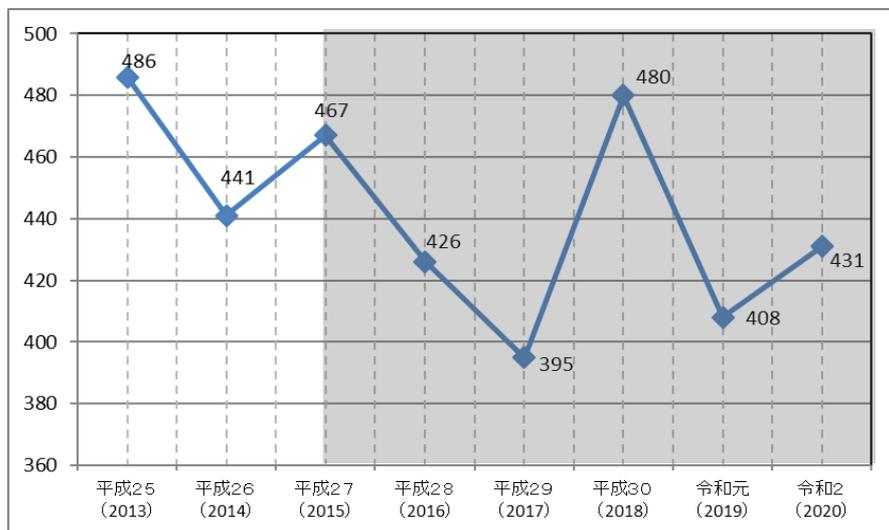
出典：人口動態総覧（令和2年は住民課調べ）

◆ 5. 転入数の推移 ◆



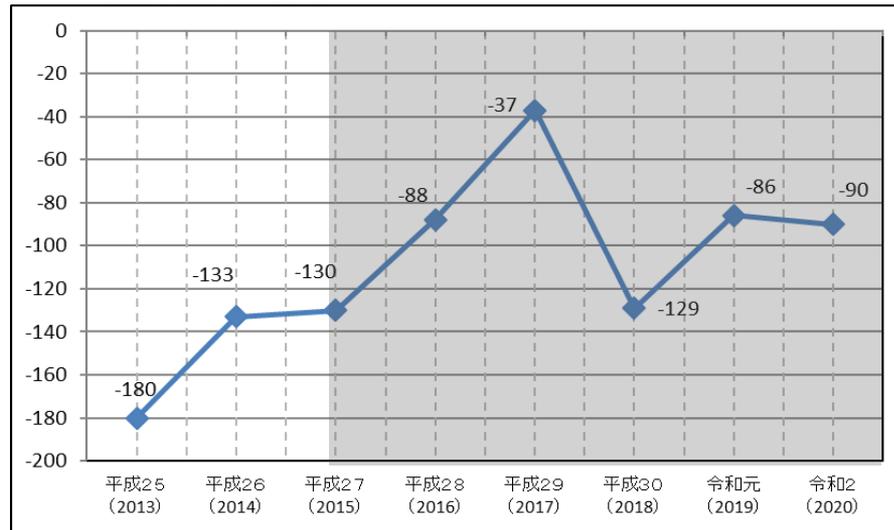
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 6. 転出数の推移 ◆



出典：住民基本台帳人口移動報告

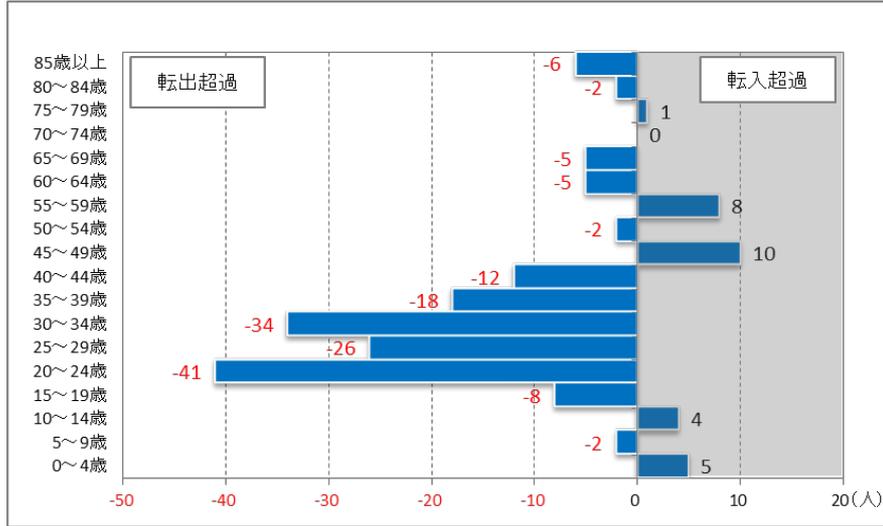
◆ 7. 社会増減の推移 ◆



出典：住民基本台帳人口移動報告

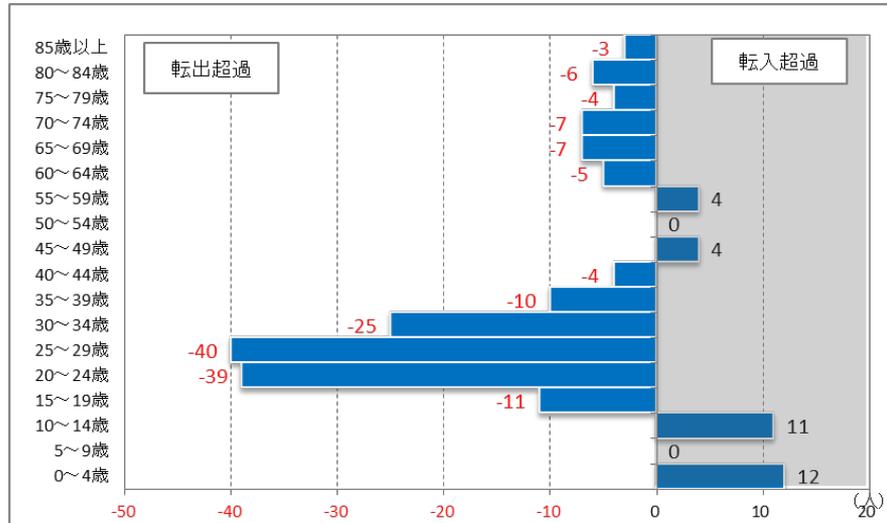


◆ 8-1. 年齢階層別転出入超過数 (平成26年) ◆



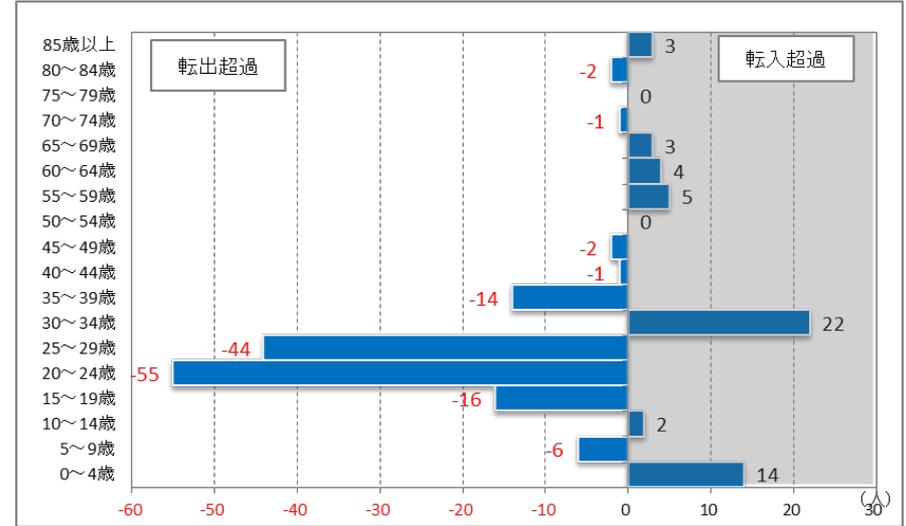
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-2. 年齢階層別転出入超過数 (平成27年) ◆



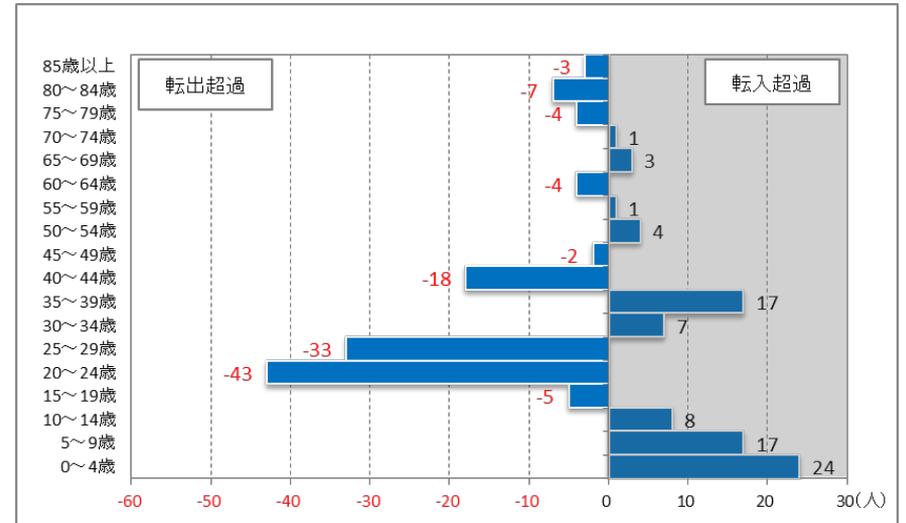
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-3. 年齢階層別転出入超過数 (平成28年) ◆



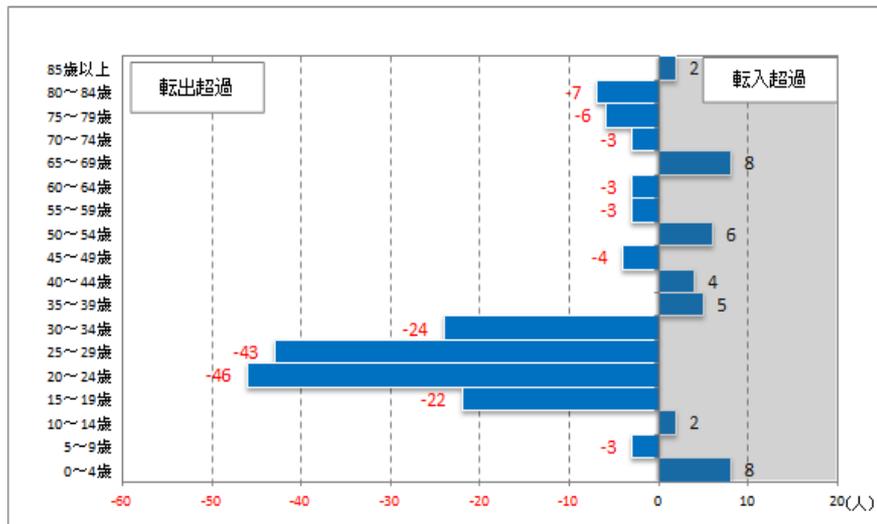
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-4. 年齢階層別転出入超過数 (平成29年) ◆



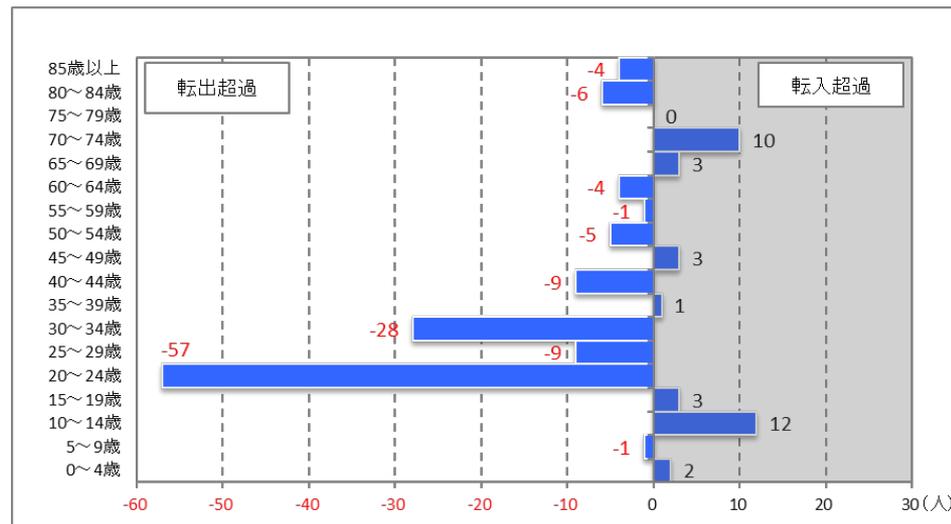
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-5. 年齢階層別転出入超過数 (平成30年)



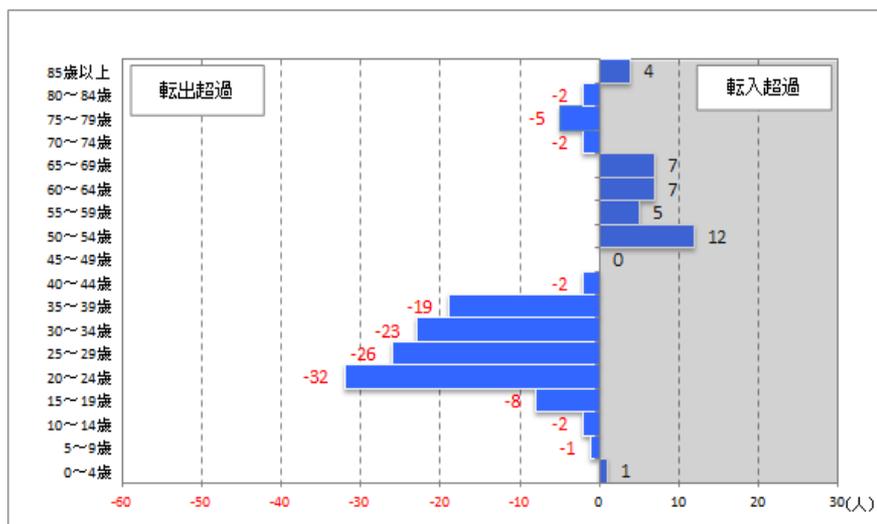
出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-7. 年齢階層別転出入超過数 (令和2年)



出典：住民基本台帳人口移動報告

◆ 8-6. 年齢階層別転出入超過数 (令和元年)



出典：住民基本台帳人口移動報告

3. 第2期岬町まち・ひと・しごと創生総合戦略の方向性

(1) 岬町の課題

(1) 「自然減」の抑制

自然減は、「死亡数」が「出生数」を大幅に上回る状態が続いているためであり、自然減を抑制するためには「出生率」を向上させていく必要があります。

また、出生率の向上に向けて、このまちに住み、子どもを生み育てたい人の希望を実現するため、出会いや結婚を支援し、妊娠・出産から子育て支援まで切れ目のない施策の充実を図る必要があります。

(2) 「社会減」の抑制

若い世代を中心とする転出超過のうち、特に、近隣市への流出が本町の人口減少につながっています。一方で、進学等により町外に転出した若い世代が、そのまま町外に住み続ける割合が高いことも人口減少につながっています。

転出超過の改善に向けて、近隣市への転出抑制に加え、進学等により町外に転出した若者や新たに移住を希望する方が、このまちに住み、生活したいと思えるような住環境や就労の希望を実現できる雇用環境等の整備・充実を図る施策に取り組む必要があります。

(3) 長期的かつ総合的な観点でのまちづくり

人口減少の要因は、様々な要素が関係していることから、長期的かつ総合的な観点で施策を実行し、まちづくりを推進していく必要があります。

時代にあった地域をつくり、地域と地域が連携した持続可能なまちづくりを進めるため、特に、地域資源の活用、地域の将来を支える人づくり、交流の促進に取り組む必要があります。

(2) 岬町の方向性

第2期岬町総合戦略では、岬町人口ビジョンを踏まえ、国の示す政策分野に基づくとともに、第1期岬町総合戦略で掲げた基本目標の趣旨や施策等を引き継ぐこととします。

4つの「基本目標」を設定し、人口減少に歯止めをかけるとともに、人口減少社会に対応できるまちづくりを着実に進めていくものとします。

各施策には、短期的に実施が可能な施策と構造的な改革を視野に入れて中長期に継続的に実施すべき施策の両方を含んでおり、第5次岬町総合計画（令和3年（2021年）から令和12年（2030年））との整合を図った内容とします。

(3) 第2期岬町総合戦略の基本目標

- 基本目標1 新しい人の流れをつくり、定住と交流を促進する
- 基本目標2 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる
- 基本目標3 経済を活性化し、安定的な雇用を創出する
- 基本目標4 安全・安心な暮らしができる魅力的なまちをつくる

(4) 横断的な目標

- 横断的な目標Ⅰ 多様な人材の活躍を推進する
- 横断的な目標Ⅱ 新しい時代の流れを力にする

4. 令和3年度の地方創生の取組みについて

→ まちの魅力づくりと情報発信に努め、定住人口の増加と交流人口の拡大を図る。
町や地域と関わりのある町外からの新しい人の流れ（関係人口）を生かした取組みを進める。

◆基本的方向◆

- ・移住・定住者の視点に立ち、雇用や住まい等の移住・定住の条件を向上する総合的な環境整備を行い、移住・定住を促進するとともに、移住者の潜在需要を開拓するため、観光振興や情報発信によって交流人口を拡大し、新しい人の流れを創り出す。
- ・町外に居住しながらも、町や住民と関わり、継続的に地域に貢献する「関係人口」という新たな人の動きに着目し、地域の課題解決につながる仕組みづくりを推進します。また、地域経済の活性化を推進するため、「交流人口」や「関係人口」の創出・拡大を図ります。



◆具体的な施策◆



施策名	主な具体的事業
①移住・定住の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 移住・定住に対する支援（新築、中古住宅購入助成、家賃補助、金融機関との連携） ○ 空き家バンク制度の充実 ○ 大阪府宅建協会と連携した空き家に関する相談業務の実施 ○ お試し居住事業（府営住宅の空室を活用し、本町への移住希望者が一定期間居住する。） ○ 移住を促進するための情報発信の推進 ○ テレワークの推進 等
②関係人口の創出・拡大	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岡山県美咲町との連携・交流（児童・生徒交流事業、イベント開催等） ○ 企業版ふるさと納税寄附活用事業 ○ 企業版ふるさと納税（人材派遣型）の活用 ○ ふるさと納税寄附活用事業 ○ 地域おこし協力隊の活用 ○ 関係人口の創出・拡大に向けた仕組みづくりの検討 等

◆具体的な施策2◆

施策名	主な具体的事業
③観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光交流拠点の整備・活用【(仮称)みさき公園観光案内所、深日港観光案内所(さんぽるた)、道の駅みさき(夢灯台)】 ○ 観光客の受入環境の充実(観光マップ、観光看板、シェアサイクル、レンタサイクル、Wi-Fiの整備等) ○ 体験型観光の推進(マリンレジャー、工場見学、環境保全活動等) ○ 広域サイクルツーリズム事業の実施(サイクリングイベント、旅客船運航) ○ 観光集客を推進するプラットフォームとなるDMO(KIX泉州ツーリズムビューロー)の活用 ○ 日本遺産として登録された葛城修験道の整備・活用 ○ 新たなみさき公園の整備 ○ みさき農とみどりの活性化構想の推進 ○ イベント開催や地域のイベントの支援 等
④タウンプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学等と連携したタウンプロモーションの推進(ワークショップ、情報発信) ○ 地域おこし協力隊の活用【再掲】 ○ 都市部でのまちの魅力発信イベントの開催 ○ サテライトキャンパスの設置 等

※赤字は第2期総合戦略の新規、拡充事業

➡ 結婚・出産・子育ての切れ目ない支援により、少子化を克服するとともに、次代のみさを担う人材の育成、確保を図る。



◆基本的方向◆

誰もが結婚の希望を実現し、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりを進める。また、素晴らしい自然環境や、小さな町だからできるきめ細やかな対応といった特性を活かし、こどもたちが心身ともに健やかに育ち、まちへの愛着を育む教育を進める。

◆具体的な施策◆



施策名	主な具体的事業
①結婚・出産・子育ての支援 ア 結婚希望の実現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 婚活イベント開催支援 ○ 結婚新生活のスタートアップに係るコストの支援 等
イ 妊娠・出産の支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不妊・不育治療支援（拡充） ○ 出産祝い金（拡充） ○ 妊娠初期からの包括的な支援（妊婦健診、妊婦歯科検診）等
ウ 子育ての支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育機能の充実（延長保育、0歳児保育、子育て短期支援事業、病児保育、一時預かり事業（保育所、幼稚園）等 ○ ファミリー・サポート・センター事業（子育ての相互応援） ○ 第2子以降の保育料無償化（保育所、幼稚園、認定こども園） ○ 子ども医療費助成事業（医療費（入院・通院）の助成対象を満18歳に達した後の3月末までの者とする。） ○ 給食無償化（幼稚園・保育所） 等
②次代を担う人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールカウンセラー事業の実施（小・中学校、幼稚園に派遣） ○ スクールソーシャルワーカー設置事業 ○ 子どもの体力向上推進事業の実施（和歌山大学と連携し、子どもの体力・運動能力の分析、授業の改善を行う。） ○ 中学校学力エンパワメント推進事業（授業改善について、学識経験者による職員研修を行う。） ○ 登下校見守り事業 ○ 学習環境の充実（学校給食センターと岬中学校給食調理場の統合、GIGAスクール構想の推進、洋式・多目的トイレの整備、小中学校の体育館に空調機器整備の検討 ○ 長寿命化計画の推進 ○ 文化芸術育成事業（小学校に芸術家を派遣し、子どもの能力の充実を図る。また、保護者も対象に追加） 等

※赤字は第2期総合戦略の新規、拡充事業

➡ 産業の育成、創業の支援などによる雇用創出と地域資源を活かした魅力づくりを進め、就職したい人の希望をかなえる。

◆基本的方向◆

本町の産業構造や自然環境など地域特性を最大限活かし、農業や漁業、製造業、サービス業などの産業振興を進めるとともに、就労支援や相談業務の充実を図り、関係機関と連携し、安心して就労できる環境づくりを進め、雇用機会の確保・創出を進める。



◆具体的な施策◆



施策名	主な具体的事業
①地域産業の創出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創業支援事業の実施 ○ 商工会、金融機関と連携した創業支援（ワンストップ相談窓口、情報共有など） ○ 創業支援事業の実施（創業支援事業者助成、創業支援助成、創業支援利子補給） ○ ビジネスプランコンテストの開催 ○ 企業誘致の推進（企業誘致優遇措置助成事業）等 ○ 森林資源の育成・活用（森林環境譲与税等の活用）
②地域産業の競争力強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域特産品開発の支援（特産品開発助成） ○ 農・漁業新規就労者の支援（住居費の助成） 等
③雇用対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の就労支援（シルバー人材センターの活動支援） ○ 町内事業者の求人情報を町ホームページで紹介 ○ 新たな技能を身につける職業訓練やリカレント教育の推進 ○ テレワークの推進【再掲】 等

※赤字は第2期総合戦略の新規、拡充事業

◆基本的方向◆



地域力・住民力を活かし、人口減少社会に対応した安全・安心かつ快適で利便性の高いまちを創出する。

超高齢社会に対応し、誰もが住み慣れた地域の中で元気にいきいきと安心して生活できる環境整備を進める。また、災害に強いまちづくりの観点からも、これまでに整備した都市施設の維持更新を含めて、引き続き都市基盤の計画的な整備を進め、安全で快適な暮らしを守るまちづくりを進める。



◆具体的な施策◆



施策名	主な具体的事業
①生活インフラの確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域公共交通の確保（コミュニティバスの運行（小型ノンステップバスの整備）、南海多奈川線の活性化（鉄道事業者と連携した事業の実施）） ○ 幹線道路網の整備（（仮称）池谷向出連絡線、町道西畑線、町道美化センター連絡線、町道岬海岸番川線）等
②安全・安心な暮らしの確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災拠点の整備（防災用品、防災倉庫の整備等） ○ 防犯灯や防犯カメラ設置 ○ 岬町国土強靱化地域計画の推進 ○ 災害用物資備蓄経費（段ボールベッドの購入など） ○ 既存民間建築物安全対策（ブロック塀安全対策） ○ 不良空家等除却補助 等
③誰もが健康で暮らしやすいまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康・福祉の推進（在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進 等） ○ 岬町スポーツ広場の活用 ○ 高齢者の就労支援（シルバー人材センターの活動支援） ○ 小地域ネットワーク活動支援（社会福祉協議会）等
④地域コミュニティの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域住民のまちづくり活動の支援（コミュニティ用品貸出） 等
⑤広域連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣市町との事務事業の連携（まちづくり、介護・障害福祉分野） 等 ○ 岡山県美咲町との連携・交流（児童・生徒交流事業、イベント開催等）【再掲】 ○ NPOなどの地域づくりを担う組織や企業との連携 ○ 大学との連携推進 等

※赤字は第2期総合戦略の新規、拡充事業

(1) 第2期岬町総合戦略の推進に向けて

基本目標（1～4）の実現に向けて、関連施策・事業を推進するにあたり、岬町単独で取り組むのではなく、町内外の企業の人材・資金や国・府の施策・事業の活用、新技術の積極的な導入などにより、円滑で効果的な事業推進を図ります。

SDGsのターゲットに関係する事業については、SDGsの視点から地域ぐるみの取組を推進します。

◆基本的方向◆



横断的な目標 1

多様な人材の活躍を推進する

◆具体的な施策◆

施策名	主な具体的事業
①幅広い連携の推進 ア 公民連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業版ふるさと納税寄附活用事業【再掲】 ○ 企業版ふるさと納税（人材派遣型）【再掲】 ○ 地域おこし協力隊の活用【再掲】 ○ 企業との連携協定の締結、企業提案の受け入れ
イ 広域連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣市町との事務事業の連携（まちづくり、介護・障害福祉分野）等【再掲】 ○ 岡山県美咲町との連携・交流（児童・生徒交流事業、イベント開催等）【再掲】 ○ NPOなどの地域づくりを担う組織や企業との連携【再掲】 ○ 大学との連携推進 等【再掲】

横断的な目標 2

新しい時代の流れを力にする

◆具体的な施策◆

施策名	主な具体的事業
①新しい時代の動きの活用 ア 新技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT・IoT・ロボットなどの新技術の活用 ○ Society5.0の実現に向けたデジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進
イ SDGsの実現	<ul style="list-style-type: none"> ○ ターゲットの実現につながる取組の推進